



迎春

安倍首相は二〇二〇年を新憲法施行の年にしたいと表明しており、今年
は安倍改憲阻止の正念場です



私の年賀状

明けましておめでと〜ございませす。

七五歳になり、後期（高貴？）高齢者となりました。

降る雪や昭和は遠くなりけり

中村草田男が一九三一年（満州事変に突入した年）に作った俳句を
明治→昭和と変えてもじりました。

昨年、DVD「ラストエンペラー」を見ていたら有書真富貴、無事
小神仙・善物があれば真の富貴、事なきこそ幸福なりという言葉に
出会いました。私の私生活では、現在まさにこのような生活を送っ
ています。

現代史が、二〇一五年に平和の時代から戦争の時代への過渡期に
入りましたが、今年も、（改憲されて）戦争の時代へ移行すること
なく、過渡期のまま新年を迎えることができました。

私たち九条の会など市民の草の根の三〇〇万署名運動の成果で、
改憲どころか、国会発議さえも、さらには「自民党の改憲4項目の
国会提示」ところかそのための憲法審査会の開催さえも阻止するこ
とができました。しかし安倍首相は一月の通常国会でこれらを一気
にやりかねません。

今年も引き続き草の根の三〇〇万署名運動を続ける必要があります。
ます。

今年の五月一日から元号が変わるそうですが、元号は天皇が空間
とともに時間をも支配していることを示す支配装置の一環なので、
私はCEI JOE EOC eta（国際共通年）を使います。

CEI 二〇一九年一月一日

中村修

2019年年頭にあたっての私の抱負

松尾九条の会代表

田中康晴

新しい年を迎えた。おめでとうございますと心から言える年にしたい。この年が未来に対する希望の年になることを願う。ところが安倍政権発足以来、憲法改悪、際限のない軍拡、教育勅語の再考など新たな「戦争前夜」の様相がみえる。ここにきて立法院の軽視と言うより無視で加速させている。何としても止めなくてはならない。



三〇〇〇万署名の達成である。ここからが大変だ。今まで手の届かなかつた方々にどう対するか、発想の転換、智恵を出そう。

昨年、門川市長は京のおもてなしという言葉が好きだ。そしてこの言葉で高級ホテルを誘致、民泊を野ざらしにし、守り続けてきた文化、景観を壊し、命に換えようとしている。本当のおもてなしは、市民が住み続けたいと思われ、誇れる街を楽しんでもらうことだ。彼はまた非正規雇用で経済的に苦しむ十八才、二十才の若者の個人情報、自衛隊に提供し、安倍の経済的徴兵制に加担しようとしている。

今年、三〇〇〇万署名の達成で安倍政権と対決することはもとより、目の前の門川市長と対決して地方議会議員選挙に勝利することが、明るい未来を希求する我々にとって重要な年となりそうである。

安倍九条改憲NO! 3000万署名の 到達

西京九条の会で

5207筆(1/8 現在)
引き続き3000万署名へのご協力をよろしくお願ひします。

西京九条の会からのお知らせ

九条の会の新しいリーフレットができました。

なぜ私たちが安倍首相のもくろむ改憲に反対するのか、ご一読ください。

皆さんの九条の会への入会をお待ちしています。

連絡先 事務局の下山まで

075-392-3861